

令和元年 7月2日

年長父母各位

認定こども園

國學院大學栃木二杉幼稚園



### ～園外保育 足利フラワーパーク 6月25日(火)～

栃木県足利市堀込町に「早川農園」として1968年に開園。以来「250 畳の大藤」として愛されておりましたが、都市開発の為 1997年に現在の足利市迫間町（はさまちょう）に移設し、「あしかがフラワーパーク」としてオープンしました。



広がり続ける 大藤

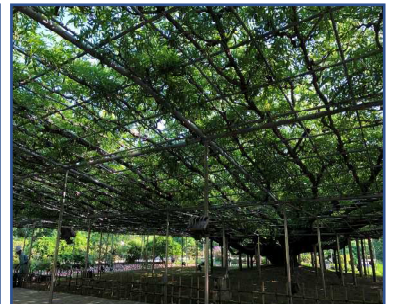
### 園長 塚本こなみさん

日本の女性樹木医第一号  
～木のお医者さん～

大藤の引っ越しを手掛けてくれる人がいない中、木の“生命力”を感じた塚本さんが、引き受けて下さいました。毎日、毎日木に語りかけ続けた塚本さん。その塚本さんの気持ちが“大藤”に伝わり、4本全ての藤が芽吹いたそうです。

平成8年に引っ越しが始まり、翌平成9年に、『足利フラワーパーク』として、またこの生命力満ちた巨樹を見ることが出来るようになりました。

現在は『世界一のふじ』といわれ、開園して20年経った今でも、枝を広げつづけているそうです。





～“大藤”を見たお子さん達の声です～  
 『すご～い 大きいね(＾O＾)／』  
 『大きいから、枝と枝をつなげているの？』  
 木の生命力を感じ、自然界の“みなぎる力”  
 をお子さん達なりに感じて欲しいです…



根っこが熱くならないように板を外してあげているよ(^^)



藤の木が熱いから所々扇風機で仰いであげているよ(^^)



塚本こなみ 1949年静岡県磐田市出身、現在浜松市在住。  
 日本女性樹木医第一号。一級造園施工管理技士。  
 1996年に樹齢130年の4本の大藤をあしかがフラワーパークに移植し、一躍有名になる。

2013年4月から、自宅がある、はままつフラワーパーク理事長、浜松市花みどり振興財団理事長を務めるかたわら、全国の樹木の世話をする。



早川農園からの移植作業

「私はみんなにいつも言うのです。大きな公園に行かなくてもいいのです。近くの小川や、低木林でも、小さな木でいいから、自然の中に自分のお気に入りの木『マイ・ツリー』を探して欲しいのです。そして、毎日、その木に話しかけるのです。天気や、その日にあったことなど。木は耳を傾けてくれるはずですよ」。

塚本さんは、自然のもつパワーは人を癒すことができると信じている。樹を知り、樹の声を聴く。樹の気持ちになって考え、寄り添うと自ずと答えは見つかるという。樹木も人間も同じいきものだ。

～バラのお庭とバラの咲く島～

周りにはユリの花が咲いていてきれい！

(◡◡>◡◡)。 ✧♡



ユリはいい香り  
しないね～！！



バラっていいにおい～♪  
せっけん？ジュース？  
いろんな香りがしたね♡



沢山の人が  
「こなみ先生」と一緒に、  
お花を守っているんだね



花菖蒲の舞台..あたり一面菖蒲の花畑

(お子さんと同じくらいの背の高さがありました)



地図を見ながら、  
今どこかな？






水の中に何かいるかな！！

～帰りに園長先生から藤まんじゅうのおやつをいただきました～  
とっても美味しくてみんなにっこり(\*^-^\*)



園長先生ありがとう！！



塚本先生の  
絵本です。  
お子さん達と  
読んできました。



もっと食べたいな！！